

# F1の技術が市販車に



2026/2/16  
品質管理課 槇原

みなさん、モータースポーツに関してどのようなイメージをお持ちでしょうか？よく言われる事は、同じ所をグルグル走って、それを見て何が楽しいの？？と言われます。確かに私も興味が無かったら、そう思うと思います。



個人的に思うモータースポーツの面白いところは、人間が今持っている、頭脳・知識を使って、マシンを造って、世界中から集まったドライバーが戦い、チームスタッフも戦う点だと思います。

その最高峰がF1になります。また、そこで生まれた技術が何年か後には、我々が普段乗ってる車に活かされてきます。ホンダの創業者、本田宗一郎は、「F1は走る実験室」と称してました。

今回は、どういったF1の技術が市販車に活かされてきたかを紹介したいと思います。

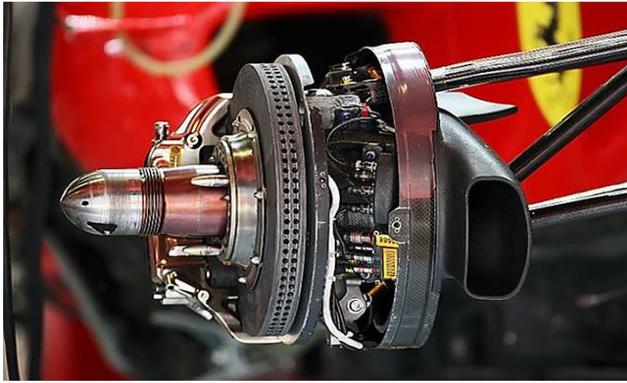
## ・パドルシフト

ギアチェンジの際に、ハンドルから手を離さなくてむギアチェンジが可能になりました。フェラーリが初めてF1で採用して、市販車でもフェラーリが初になります。



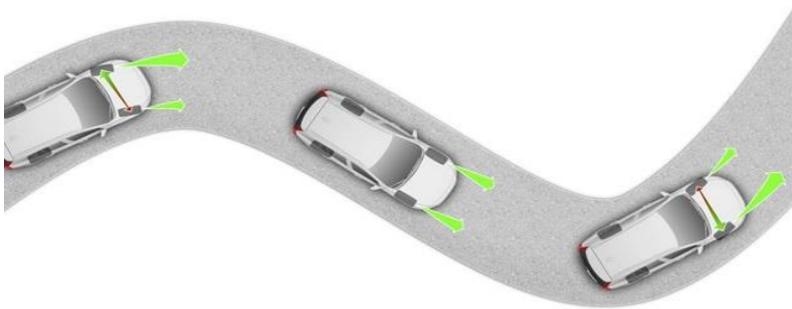
## ・カーボンセラミックブレーキ

高価であるため高級車にしか採用されておられません、ブレーキの重量が減少し、耐熱性が向上しました。また安全性も高くなっております。



### ・トラクションコントロール

フェラーリが初めて導入した技術ですが、F1では今は、禁止されてる技術です。ただその派生技術が (ABS、ASP、ESPなど) 市販車には使われております。



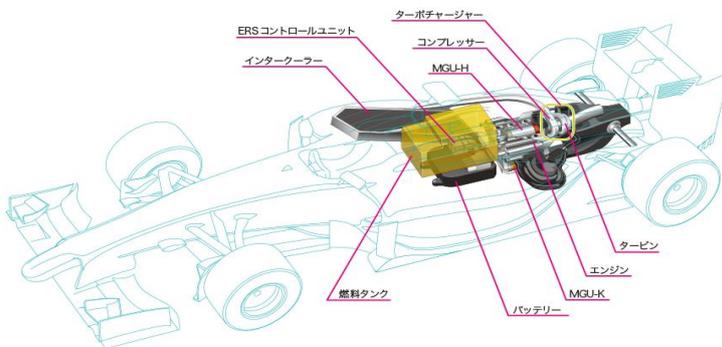
内側の駆動車輪にブレーキをかけ、トルクを再分配することで、コーナーに入る時外輪が望ましいラインを保てるようにする。

トラクションコントロールにより、曲がりかけた途でのトラクションと走りのパフォーマンスを大きく向上させる。

内輪から外輪へのトルク分配により、コーナー出口で加速するときのアンダーステアを抑える。

### ・運動エネルギー回生システム(KERS)

バッテリーを充電するシステムで、ブレーキ時にエネルギーを蓄積して加速時に使用します。これと同じ原理がハイブリット車や電気自動車に使われております。技術の時代的には前後する点もありますが。



まだまだ、ありますがこの辺で紹介は終わりたいと思います。



ここから先は、100年に1回あるかないかと言われている、2026年のF1のレギュレーション等についてご紹介したいと思います。

2026年シーズン、F1は大幅にレギュレーションが変わります。

・F1マシンの小型化

全長が3600mmから3400mm、全幅が2000mmから1900mm

車重が最低重量768kg

全体でダウンフォースが約30%減少し、空気抵抗は約55%減少が見込まれます。

小型化する事により、バトルやオーバーテイクがしやすくなるよう設計されました。

・アクティブ・エアロの導入

従来のDRS(可変リアウイング)が廃止されて、代わりにフロントとリアの前後リアウイングが稼働するアクティブ・エアロの導入。

オーバーテイクの場面が増えそうです。また2026年が初なので、各チームがどのようなウイングにするか楽しみな面があります。

・パワーユニット

F1のエンジンは1.6リットルV6ターボです。これに2025年までは、MGU-HとMGU-Kが加わってましたが、2026年はMGU-Hは廃止されます。代わりにMGU-Kの電気出力が120kwから350kwに大幅に引きあがります。またブレーキ時などに回生できるエネルギーも増加します。まとめると、2025年までは、エンジンとモーターの出力が80%対20%だったのが、2026年は50%対50%になります。

↑

現代のF1マシンはハイブリッドカーみたいなもんです。

・燃料のサステナビリティ化

燃料は完全にサステナブル(カーボンニュートラル)になります。

余談ですが先週面白い記事がありました。2026年はパワーユニットのサプライヤーは5社あります。その各5社に石油メーカーが紐づいてきます。その中でもメルセデスは4チームにパワーユニットを供給してます。メルセデスの石油メーカーは、ペトロナスです。2026年は十分な時間があつた為、供給可能だが2027年は供給が難しくなる。その為、メルセデスF1チーム代表のト・ウォルフは、メルセデスはパワーユニットの供給先を減らす事を考えている。こんな記事がありました。

ちなみに、2026年の燃料は1リットル当たり300ドル(43190円)になるとか...2025年の10倍の燃料費がかかります💧

・2チームの新規参加

2026年から、アウディとキャデラックが参加

・ニューウェイのアストンマーチンでの初となるマシン

↑

個人的に一番気になります。ニューウェイは有名なF1マシンの設計者。今でもCADを使わずに、製図版と鉛筆を使ってマシンを設計している人。年収もF1レーサークラスな人です。

長々と書いてしまいましたが、世界中で今F1バブルです。開催国(誘致国)は増えていき(タイでも2028年に始まるとか)、放映権の金額も上がってます。(アメリカはAppleが2026年から5年契約。金額は5年間で約1100億円)日本では、2025年まではフジテレビとDAZNでしたが、2026年はフジテレビ一択になります。また地上波でも放送が始まります。(ダイジェスト版)2026年日本グランプリのチケットは即日完売でした。

まだ見た事が無い人は、見る機会があれば是非！いろいろと衝撃を受けると思います。